

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

長谷川龍伸 会長 年度テーマ
=ロータリーの誇りを胸に、前進しよう=



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 長谷川龍伸
幹事 松尾雄二郎
事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Mail rcnagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp
HPhttp://www.nagoya-marunouchi-rc.org/

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
例会日時 木曜日 12:30
クラブ会報広報委員長 大岩とよみ

2011-12年度R.I.会長
カルヤン・パネルジー

第795回 例会No. 25 平成 24年1月19日(木) 晴	
クラブフォーラム = 社会奉仕 =	
ロータリーソング	「我等の生業」
出席報告	会員46名中34名出席
出席率	79.07% 出席計算人数 43名
修正出席率	1月5日 休会
ゲスト	米山奨学生 アツナヤカ・ブリヤンティカさん

会長挨拶 長谷川龍伸

今日は、ロータリークラブの歴史、特に「ロータリーの精神」をめぐる議論の歴史について少し勉強してみたいと思います。当クラブの親クラブである「みなとロータリークラブ」が作られた「ロータリーの軌跡と目的」という冊子があります。そこにロータリークラブの歴史について要約した箇所がありましたので、ご紹介します。

1905年にポール・ハリスが創立したロータリーは、当初、会員同士の親睦と職業上の互惠取引を目的にしていた。しかし、創立一年後には、「自分たち仲間だけの商売をうまくやろう」というだけでは社会的存在意義がないと覚り、「地域社会に対する責任」という条項を採用しました。その2年後にアーサー・シェルドンが加わり、「経営の科学とは奉仕の科学である—最もよく奉仕するものが、最も多く報われる」という精神を提唱しました。ここにロータリーの原型が出来上がったとされています。

ところが、こういう個人の倫理観を中心とする考え方に不満を持つ人が出てきて、メルヴィン・ジョーンズという人は「奉仕の実践とは抽象的観念的な道徳論ではなく、現に今お金を必要としている人たちに対し金銭的に援助の手を差し伸べることだ」と考え、1917年に新たな組織を作りました。これがライオンズ・クラブです。ロータリーの「I serve」に対して、ライオンズは「We serve」だと言われています。

その後も、ロータリークラブ内部でも同様の路線対立が続き、大論争が繰り広げられた結果、1923年のセント・ルイス大会で採択されたのが「決議23-34」です。その中で「ロータリーは、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動との間に常に起きる争いを和解させようとする人生の哲学である」と宣言しました。

現在でも「ロータリークラブとは何か」ということについて色々議論されますが、こういう歴史を踏まえておく、

議論の中身がよく理解できるのではないかと思います。

1月の祝福			
誕生日		結婚記念日	
7日	松本さんご夫人	26日	岡田さん
15日	高山さんご夫人		渡邊さん
18日	安江さんご夫人		
20日	藤野さん		
26日	大岩さん		

ニコBOX

今日はクラブフォーラム「社会奉仕卓話」です。社会奉仕委員長 池井戸貞夫さん、どうぞ宜しくお願いします。
長谷川会長 西垣、後藤、川原、若原、岩田、柴田孝一、西川、和田、水野、加藤満男、堀江、成田、北原、渡邊 (敬称略)

藤野さん 誕生日のお祝いを有難うございます。

大塚さん 今年もよろしく。

松本さん 皆様 本年も宜しくお願いします。

大岩さん 皆様 年賀状ありがとうございました。

安江さん 家内に誕生日の花をありがとうございました。

池井戸さん 今日はクラブフォーラム(社会奉仕)をさせていただきます。よろしく。

高山さん 来週水曜日25日からパラオに行ってきます。パラオロータリークラブと例会パーティで友好親善を図ってきます。

西川 博さん、忘年家族会の写真をありがとうございました。松尾幹事 矢野、森田、磯部、水野、金子、大岩、立石(敬称略)

本日合計 80,000円

クラブフォーラム

「社会奉仕委員会事業について」

委員長 池井戸貞夫

1. 継続事業としてのクラブ事業

- (1) メイクアウィッシュジャパンへの支援 ...2月16日例会にて実施
- (2) 古本回収事業への協力 ...日程詳細は未定(4~5月頃実施予定)

2. 新たな支援活動

- (1) 地区の補助金制度等を利用しての支援活動を企画検討中である。

支援先候補 ... 熱傷協会

3. 各クラブの社会奉仕委員会活動の一部を紹介

別紙資料の通り、現況報告のあった55クラブより5クラブの活動報告

名古屋清洲RC 江南RC 名古屋東南RC
名古屋名南RC 名古屋名東RC



4. 次年度への提案

現委員長が、次年度の副委員長となり新委員長を補佐して事業を行うと流れがよく分かつと思う。

米山奨学金

米山奨学生 アツタナヤカ・ブリヤンティカさんに1月分の奨学金を、米山記念奨学委員長の岩田宏さんよりお渡しいただきました。また、岩田委員長より奨学金審議の結果報告、ブリヤンティカさんより近況報告をしていただきました。



例会のご案内

2月2日(木) 第797回例会

新入会員卓話 北原正啓さん

ロータリーニュース

(ROTARY JAPAN WEBより抜粋)

2億ドルの募金チャレンジの目標を称え、新たな追加補助金を授与

国際ロータリーは、ポリオ撲滅を目的としたビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金に応える「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の目標額2億ドルをついに達成しました。1月17日現在、募金総額は2億260万ドルとなっています。目標達成のニュースに続き、ゲイツ財団の最高執行責任者であるジェフ・レイクス氏が、新たな追加補助金5,000万ドルをロータリーに授与することを国際協議会で発表しました。

ゲイツ財団からのこの新たな補助金は、ロータリーからの上乗せ寄付を条件とするものではありません。

インドで1年間、ポリオの新たな感染が報告されず

ただし完全撲滅までは油断を許さぬ状況

米国イリノイ州、エバンストン発(2012年1月13日)ー最近までポリオウィルスの温床となっていたインドでは、1年間、ポリオ(脊髄性小児まひ)の新たな感染が一件も報告されておらず、世界ポリオ撲滅活動を展開してきた全世界のロータリー会員は、油断を許さぬ状況に慎重さを保ちながらも、この快挙に喜びの声を挙げています。

インドでのポリオ症例が最後に記録されてから、1月13日ちょうど1年となります。27年前、世界からポリオを撲滅するという目標を掲げて以来、人道的奉仕団体であるロータリーの全世界の会員約120万人、特に11万6千人を上回るインドのロータリー会員は、撲滅への固い決意の下、子供たちへの全国一斉予防接種など、懸命な撲滅活動を行ってきました。

「世界中のロータリーの仲間からの後押しを受け、インドのロータリアンは、いく月も、いく年も休むことなく活動し、何百万人という子どもたちに経口ポリオワクチンを投与する全国予防接種を支援してきました」と、国際ロータリーの現会長、カルヤン・パネルジー氏(インド、パビ)は話します。「インド人として、ロータリーが成し遂げた功績を、心から誇りに感じています。しかし、これで仕事が済んだわけではありません。ポリオを世界から根絶するという目標を実現するまでは、ロータリーは、協力組織とともに、インドや他の国々で今後も子どもたちに予防接種を続けていかなければなりません」

インドにおけるロータリーのポリオ撲滅活動を指揮するディーパク・カプール氏(ニューデリー)は、撲滅活動におけるインド保健省の全面的な支援が、今回の進展に大きく貢献したと述べます。現在までに、国内でのポリオ撲滅活動のために、インド政府から12億ドル以上の援助が寄せられています。「ポリオをなくすには、政府からの支援を欠かすことができません。インド政府がこの活動を大きく支援していることは、とてもありがたいことです」「完全撲滅に向け、現在の目標はこの勢いを持続させること」と述べるカプール氏は、1月から3月にかけて1億7,400万人の子供を対象に実施される一連のポリオ予防接種が「今後のカギを握る」と述べます。

ポリオの検査で、1月13日までに陽性の人が出なければ、インドにおける野生ポリオウィルスの感染断絶が世界保健機関(WHO)によって宣言され、同国は「ポリオ常在国」のリストから外されます。しかし、残るウィルス常在国であるアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアからのウィルス流入によるポリオ感染の危険が依然続いており、今後も、インドに加え、ウィルス常在国での予防接種活動を継続していく必要があります。隣国パキスタンでは、2011年に181件の発症が報告されており、インドが今後もポリオ無発生を維持していく上で大きな脅威となっています。また、2011年には、中国で10年ぶりにポリオが発生し、その感染源がパキスタンであることが分かっています。

1985年にポリオ撲滅プログラムを立ち上げたロータリーは、1988年、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センターと並び、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)の主導団体となりました。以来、ポリオの発症は99%減り、活動開始当時に35万件だった発症数は、2011年には604件のみでした。インドでは、2010年にわずか42件(世界の発症数は1,352件)が報告されたに留まり、翌2011年の1月13日にウエストベンガルで2歳の女の子のポリオ感染が確認されて以来、一件も感染が確認されていません。

ロータリーの会員は、官民両部門でのポリオ撲滅への認識向上と支援の呼びかけを行ってきました。現在までにポリオ撲滅支援のために全世界の会員が10億ドル以上を寄付し、インドのロータリー会員は1,160万ドル以上の資金を集めることに成功しています。さらに、ポリオ撲滅を最優先項目に掲げるビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から授与された3億5,500万ドルの補助金に応えるため、募金キャンペーンを展開中であり、目標額である2億ドルの達成に近づいています。

ロータリーは、200以上の国と地域に34,000クラブがあり、120万人以上の会員がいます。職業人と地域社会のリーダーであるロータリーの会員は、人道的奉仕活動を通じて、世界をより良い場所にするために奉仕活動を行っています。ロータリーの最優先目標は、世界からポリオを完全に根絶することです。